



# 中食製造分野における ロボット化推進

平成26年11月18日  
株式会社武蔵野

---

# ロボット導入の必要性

- 少子高齢化で労働人口が不足している
- 製造技術の伝承が困難になりつつある
- 弁当盛り付け品質の高度化が必要
- 労働集約型産業は未来に閉塞感がある

## 《将来推計人口(万人)》

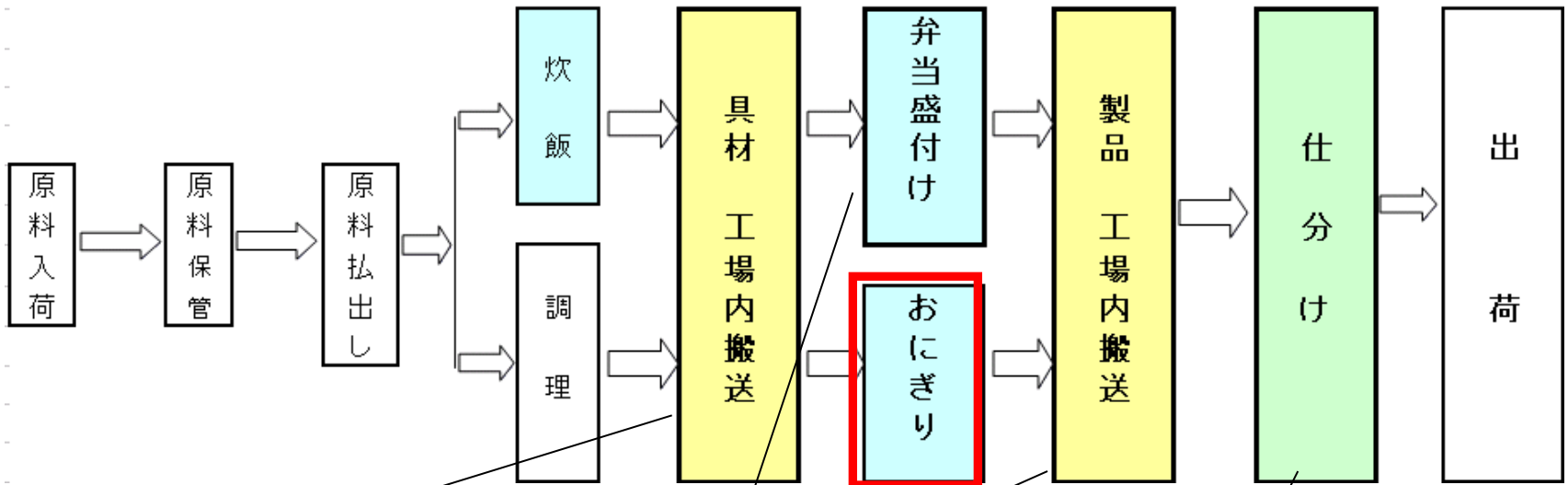
	2010年	2040年	2060年	2090年	2110年
総人口	12,806	10,728	8,674	5,727	4,286
老年人口	2,948	3,878	3,464	2,357	1,770
高齢化率	23.0%	36.1%	39.9%	41.2%	41.3%
生産年齢人口 (15~64歳)	8,174	5,787	4,418	2,854	2,126

# 現状の製造工程



# ロボット導入の着眼点

弁当・おにぎり製造工程



- 着手し易く、実現性の高い部分から始める
- 搬送⇒仕分け⇒盛り付けへと展開する

# おにぎり自動化ライン

---

# 推進スケジュールと今後の課題

自動化課題	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
具材搬送		■				
製品搬送		■				
盛り付け		■				
仕分け				■		

1. 食品製造ロボット技術完成時に、食品製造業界へ普及させるため、自動化支援策をご考慮頂けないか。
2. 人間とロボットの協業には、未知の課題が予想される。教育訓練や法規制対応等環境との調和が必要。